

労働組合としてコロナ禍を乗り越え、さらなる運動の前進を

2022年東京清掃労働組合新春団結旗開き



新型コロナウイルスの新たな変異株（オミクロン株）が世界を網羅し、国内においても増加傾向の中ではありますが、労働組合としてコロナ禍を乗り越え、東京清掃のさらなる運動の前進を図るため、感染対策を十二分に施しながら「2022年東京清掃労働組合新春団結旗開き」を1月20日に連合会館にて開催してきました。課題は多岐に亘りますが、今年も全組合員の団結で闘い抜きましょう。

▲コロナ禍でも、あらためて組織の団結力を示した

続いて、講師にお迎えした自治労組織内の岸まきこ参議院議員からは「組織内議員の活動と国会情勢」と題し、講演を受けてきたと

約2年にも及ぶコロナ禍の中、わが組合としても社会情勢を鑑み、飲食を伴う集会や会議等については自粛を重ねてきました。とりわけ、例年1月に250名規模を要し開催されている「新春団結旗開き」については、昨年2021年は開催自体を見送ってきたところ

しかし、労働組合としてコロナ禍を乗り越え、東京清掃のさらなる運動の前進を図る観点から、2022年の「新春団結旗開き」については、感染対策を万全に施しながら「集会形式」により開催してきました。内容については、飲食は引き続き自粛することとし、江森委員長による主催者挨拶を皮切りに、激励に駆けつけていただいた4名（自治労東京都本部染委員長、特区連小宮山書記長、全労協渡邊議長、退職者会正司会長）の来賓の方々から、激励と連帯の挨拶を受けてきたところ

約2年にも及ぶコロナ禍の中、わが組合としても社会情勢を鑑み、飲食を伴う集会や会議等については自粛を重ねてきました。とりわけ、例年1月に250名規模を要し開催されている「新春団結旗開き」については、昨年2021年は開催自体を見送ってきたところ

約2年にも及ぶコロナ禍の中、わが組合としても社会情勢を鑑み、飲食を伴う集会や会議等については自粛を重ねてきました。とりわけ、例年1月に250名規模を要し開催されている「新春団結旗開き」については、昨年2021年は開催自体を見送ってきたところ

約2年にも及ぶコロナ禍の中、わが組合としても社会情勢を鑑み、飲食を伴う集会や会議等については自粛を重ねてきました。とりわけ、例年1月に250名規模を要し開催されている「新春団結旗開き」については、昨年2021年は開催自体を見送ってきたところ

しかし、労働組合としてコロナ禍を乗り越え、東京清掃のさらなる運動の前進を図る観点から、2022年の「新春団結旗開き」については、感染対策を万全に施しながら「集会形式」により開催してきました。内容については、飲食は引き続き自粛することとし、江森委員長による主催者挨拶を皮切りに、激励に駆けつけていただいた4名（自治労東京都本部染委員長、特区連小宮山書記長、全労協渡邊議長、退職者会正司会長）の来賓の方々から、激励と連帯の挨拶を受けてきたところ

しかし、労働組合としてコロナ禍を乗り越え、東京清掃のさらなる運動の前進を図る観点から、2022年の「新春団結旗開き」については、感染対策を万全に施しながら「集会形式」により開催してきました。内容については、飲食は引き続き自粛することとし、江森委員長による主催者挨拶を皮切りに、激励に駆けつけていただいた4名（自治労東京都本部染委員長、特区連小宮山書記長、全労協渡邊議長、退職者会正司会長）の来賓の方々から、激励と連帯の挨拶を受けてきたところ

しかし、労働組合としてコロナ禍を乗り越え、東京清掃のさらなる運動の前進を図る観点から、2022年の「新春団結旗開き」については、感染対策を万全に施しながら「集会形式」により開催してきました。内容については、飲食は引き続き自粛することとし、江森委員長による主催者挨拶を皮切りに、激励に駆けつけていただいた4名（自治労東京都本部染委員長、特区連小宮山書記長、全労協渡邊議長、退職者会正司会長）の来賓の方々から、激励と連帯の挨拶を受けてきたところ

しかし、労働組合としてコロナ禍を乗り越え、東京清掃のさらなる運動の前進を図る観点から、2022年の「新春団結旗開き」については、感染対策を万全に施しながら「集会形式」により開催してきました。内容については、飲食は引き続き自粛することとし、江森委員長による主催者挨拶を皮切りに、激励に駆けつけていただいた4名（自治労東京都本部染委員長、特区連小宮山書記長、全労協渡邊議長、退職者会正司会長）の来賓の方々から、激励と連帯の挨拶を受けてきたところ

約2年にも及ぶコロナ禍の中、わが組合としても社会情勢を鑑み、飲食を伴う集会や会議等については自粛を重ねてきました。とりわけ、例年1月に250名規模を要し開催されている「新春団結旗開き」については、昨年2021年は開催自体を見送ってきたところ

しかし、労働組合としてコロナ禍を乗り越え、東京清掃のさらなる運動の前進を図る観点から、2022年の「新春団結旗開き」については、感染対策を万全に施しながら「集会形式」により開催してきました。内容については、飲食は引き続き自粛することとし、江森委員長による主催者挨拶を皮切りに、激励に駆けつけていただいた4名（自治労東京都本部染委員長、特区連小宮山書記長、全労協渡邊議長、退職者会正司会長）の来賓の方々から、激励と連帯の挨拶を受けてきたところ

しかし、労働組合としてコロナ禍を乗り越え、東京清掃のさらなる運動の前進を図る観点から、2022年の「新春団結旗開き」については、感染対策を万全に施しながら「集会形式」により開催してきました。内容については、飲食は引き続き自粛することとし、江森委員長による主催者挨拶を皮切りに、激励に駆けつけていただいた4名（自治労東京都本部染委員長、特区連小宮山書記長、全労協渡邊議長、退職者会正司会長）の来賓の方々から、激励と連帯の挨拶を受けてきたところ

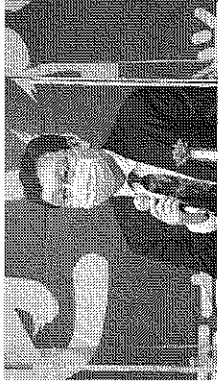
しかし、労働組合としてコロナ禍を乗り越え、東京清掃のさらなる運動の前進を図る観点から、2022年の「新春団結旗開き」については、感染対策を万全に施しながら「集会形式」により開催してきました。内容については、飲食は引き続き自粛することとし、江森委員長による主催者挨拶を皮切りに、激励に駆けつけていただいた4名（自治労東京都本部染委員長、特区連小宮山書記長、全労協渡邊議長、退職者会正司会長）の来賓の方々から、激励と連帯の挨拶を受けてきたところ

しかし、労働組合としてコロナ禍を乗り越え、東京清掃のさらなる運動の前進を図る観点から、2022年の「新春団結旗開き」については、感染対策を万全に施しながら「集会形式」により開催してきました。内容については、飲食は引き続き自粛することとし、江森委員長による主催者挨拶を皮切りに、激励に駆けつけていただいた4名（自治労東京都本部染委員長、特区連小宮山書記長、全労協渡邊議長、退職者会正司会長）の来賓の方々から、激励と連帯の挨拶を受けてきたところ

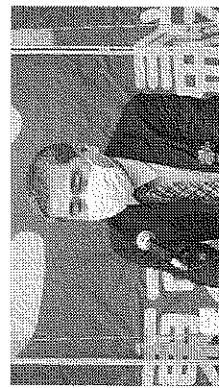
激励に駆けつけていただいたご来賓の方々



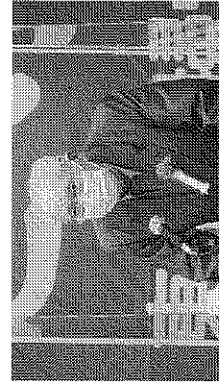
▲都本部染中央執行委員長



▲特区連小宮山書記長



▲全労協渡邊議長



▲退職者会正司会長



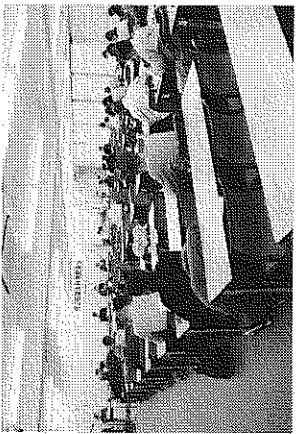
第2回拡大闘争委員会

全ての職員が65歳まで安心して働き続けられる賃金制度とするため 闘争方針を確認

わが組合は、1月22日（土）に開催した第2回拡大闘争委員会において、2月8日（火）始業時から1時間の実力行使を背景に、要求実現を迫っていく闘争方針を確認しました。一時金の引下げは全国状況を鑑み苦渋の判断をしましたが、定年引上げに係る60歳以降の賃金水準については、納得ができません。継続協議とさせていただきます。こうした我々の要求に対し区長会は2月7日にも判断を求めています。区長会が妥結を望むのであれば、我々の要求に応える他ありません。

わが組合は、全ての職員が65歳まで安心して働き続けられる賃金制度とするため、月例給において再任用賃金を下回らない制度の構築を強く求めています。残された時間は決して多くありませんが、定年引上げに係る課題の解決を本部・地区連・（総）支部を貫く全組合員の総団結と、特区連との強固な共闘により、もてるすべての力を結集し、我々の要求実現に向け、最後の最後まで組織の総力を

わが組合は、全ての職員が65歳まで安心して働き続けられる賃金制度とするため、月例給において再任用賃金を下回らない制度の構築を強く求めています。残された時間は決して多くありませんが、定年引上げに係る課題の解決を本部・地区連・（総）支部を貫く全組合員の総団結と、特区連との強固な共闘により、もてるすべての力を結集し、我々の要求実現に向け、最後の最後まで組織の総力を



あげ闘い抜きましょう。引き続き、各支部・組合員のご理解・ご協力を宜しくお願いします。
(泉田 和明)

第2回 拡大闘争委員会

公共サービスのために自治労の政策要求を実現しよう!

鬼木まこと 立憲民主党参議院比例第15区支部長

第26回参議院全国比例区選挙 自治労組織内候補予定者

▲激励に駆けつけていただいたご来賓の方々

▲都本部染中央執行委員長

▲特区連小宮山書記長

▲全労協渡邊議長

▲退職者会正司会長

鬼木まこと 立憲民主党参議院比例第15区支部長

公共サービスのために自治労の政策要求を実現しよう!

第26回参議院全国比例区選挙 自治労組織内候補予定者

▲激励に駆けつけていただいたご来賓の方々

▲都本部染中央執行委員長

▲特区連小宮山書記長

▲全労協渡邊議長

▲退職者会正司会長